



No.27

げんきカエル



こども病院ニュースレター

初めての医療保育学会開催を終えて

血液主体病棟 保育士 中村直子

去る9月5日(土)～6日(日)に兵庫県看護協会会館にて「こども〇笑う」をテーマとし、第13回日本医療保育学会を開催しました。今学会の会頭は当院の丸尾院長が務め、主催は当院の保育士をはじめ日本医療保育学会近畿ブロックの会員が中心となり、企画・運営を行いました。



新型インフルエンザの蔓延のため6月に予定していた学会開催が9月に延期となり、予想外の出来事に困惑したこともありましたが、当日の参加者は予想以上に多く大盛況でした。学会では、子どもや家族の笑顔のために私たちに何が出来るかを考える良い機会になればという思いから、絵本の話や虐待の話、また医療保育士の在り方や展望などをテーマに、参加者と交流を深めました。休憩中には、関西ならではの手遊びを取り入れるなど保育士らしい和やかな雰囲気のある学会となりました。

保育士が中心となって日本医療保育学会を開催す

ることは珍しく、また近畿での開催も初めてのことでした。私たち保育士も学会開催に携わることが初めてなので、右も左もわからない状態で準備を開始しました。しかし、以前に学会の会頭をされた保育士や準備委員長をされた方から資料やアドバイスを頂きながら、なんとか準備を進めることができました。

今回の学会準備のため、様々な方にアドバイスや激励を頂きました。私達保育士だけでは学会開催の成功は成し得ず、多くの方の支えや協力があったからこそ成功し貴重な体験ができたと思います。今学会の開催のために協力して下さった皆様、本当にありがとうございました。この体験を生かして、子どもとご家族がよりよい入院生活を送れるよう、より一層努力していきたいと思います。





Hospital Play therapy and Preparation Techniques in Sweden

(スウェーデン小児病院での病院プレイセラピーとプレパレーション技術)

国際交流促進委員会委員長 西島栄治

平成21年7月22日(水)午後6時～8時に、兵庫県立こども病院研修室ABで、こども病院の国際交流推進委員会が主催する講演会が行われました。演者はKristina Silfvenius(クリスティーナシルフェニウス女史)でスウェーデンのカロリンスカ大学病院に属するアストリッド リンドグレン小児病院のプレイスペシャリストの方です。

この数年、日本の小児病院でも入院中のこども達に遊びによるケア(プレイセラピー)を提供することの大切さが論議されるようになってきました。兵庫県立こども病院では、開設以来、院内保育士さん達が活躍しており、入院中のこども達に多彩な保育環境を提供しています。今回は、病院プレイセラピーの先進地であるフィンランド(1909開始)や

スウェーデン(1912開始)の到達点を勉強する貴重な機会ですので、近隣の小児病院や小児病棟の看護師、医師、保母さん、院内保育士さんにも案内しました。院内院外の参加者はあわせて100名を超え、強い関心が示されました。

プレイセラピーはこども達が元気よくなることをめざすケアです。遊戯、プレイこそはこども達の生活の中心です。遊びや創造的な活動を通じて、こども達は自分たち自身の経験を理解し、現実と向き合うことができるようになります。手術や検査を受ける前には、特別な人形や実物の器具を用いて治療環境を模倣して、治療の受入を促すプレパレーション手技も紹介されました。

—当院で行っているプレパレーションの紹介—

①病棟紹介

アルバムを用いて患者様が入院環境をイメージできるように説明しています。

②検査や手術のプレパレーション

人形・ぬいぐるみ・おもちゃの医療用具モデル・絵本などを使用して、患者様が検査や手術前後で体験する事を疑似体験できるようにしています。

このようなプレパレーションを通じて、患者様が自分の病気について成長発達に応じた理解ができ、患者様と医者様との信頼関係が築けるように支援しています。



◀▲プレパレーションに用いるパペットと医療用品のモデル(当院で使用しているものです)





心臓超音波(心エコー)検査って？

..... 検査部 西垣 久美代

超音波とは人の耳には聞こえない高い音のことで、自然界ではイルカやコウモリが使うことで知られています。魚群探知機にも利用されていることをご存知の方もいらっしゃるかもしれません。超音波は、まっすぐに進み障害物に当たるとはね返り、その性質が「やまびこ」に似ていることより「エコー検査」と呼ばれるようになりました。超音波はお腹の赤ちゃんにも使えるほど体に影響がなく無害です。

心臓超音波検査は、当院では医師と臨床検査技師が行います。超音波を心臓に当て、反射した信号を受信して画像化し、心臓の動き・構造・血の流れを調べます。

検査は暗い部屋で行われ、胸にはゼリーをつけます。小さな探触子を胸にあてますので「くすぐったい」

感じがあるかもしれませんが、検査時間は20分程度です。細かな動きや構造を見るために、動いたり暴れると検査できないので、小さいお子様では眠り薬を飲んで頂いて検査します。最近ではアニメを見ながら少しでも楽しく検査ができるように工夫しています。



Concept

コンセプト

基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一体になって子どもたちの健やかな成長を目指します。



基本方針

1. 子どもの権利を重視した医療の実践
2. 安心と信頼の医療の遂行
3. 専門的な高度医療の推進
4. 地域医療・保健・福祉機関との連携
5. 親と子の健康啓発活動への貢献
6. 子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成

「げんきカエル」で取り上げてほしいテーマがありましたら、食堂前廊下の掲示板にあるテーマ応募箱へぜひお寄せください。

編集後記

当院は、昭和45年の開院当初より病棟に保育士が配置され、子ども達の健やかな成長を支えるために活躍しています。今回は、全国で活躍する保育士が神戸に集まり、病児保育学会が開催されたことを紹介しています。今後も色々な種類の活動を報告させていただきたいと思っております。また、ご縁が知りたい内容や取り上げてほしいことがありましたら、総務課、地域医療連携室にご連絡ください。今回の担当は、谷本江利子と藤田真理子でした。

編集委員長: 池尻 操子
編集渉外担当: 橋本美香子
編集委員: 田中亮二郎 藤中 早代 長尾 洋
高橋 政晴 谷本江利子 藤田真理子
汐谷 恵 西島 明子

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院

周産期医療センター 小児救急医療センター

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1
TEL 078-732-6961
FAX 078-735-0910(総務課)
FAX 078-732-6980(地域医療連携室)
URL: <http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>
E-MAIL: info_kch@hnp.pref.hyogo.jp